

総合的な学習の時間「しんろタイム」職業講話

相模原市立新町中学校 1学年

2005年1月27日(木)、新町中学校1学年143名を対象にした職業講話が体育館で行われました。

昨年11月に行われた2学年の職業講座には、弁護士、エンジニア、保育士、美容師、ドキュメンタリーカメラマン、ナレーターの6名の講師を派遣。希望する講師を生徒が選択してそれぞれの職業についての話を聞きましたが、今回は1年生が対象ということで、担当の先生との打ち合わせをして具体的な個別の職業の話ではなく、職業についてのイメージを生徒に持ってもらうために、2名の講師による講演会形式を提案させていただきました。

大勢の生徒の前で、「働くということ」を熱く語っていただく講師として、(財)さがみはら産業創造センターの里見昭社長と、関東機工(株)の専務佐藤浩美さんをお願いしました。里見さんは「夢は実現するのか?」、佐藤さんは「働くということ、大人になるということ、誰も教えてくれないこと」というテーマで、それぞれ約1時間熱く語っていただきました。多少難しい内容もありましたが、講師からの積極的な問いかけも多く、生徒たちは二人の話に引き込まれていました。



【講師へのお礼状より】一部を抜粋して掲載しています。

『夢は実現するのか?』里見 昭氏

- 「君たちは何人(なにじん)ですか?」と質問されて「一般人に決まってるじゃん」と思ってたんですけど、そのうちに私も社会人なんだと思うようになりました。
- 「何人(なにじん)ですか?」と聞かれて、僕は頭の中が?になってしまいました。「個人」という言葉があるとは考えませんでした。自分は個人として自立していないなと思いました。僕は幼稚園の先生になりたいと思っています。すごく難しいと聞きましたが、努力して夢に近づきたいと思います。
- 今まで「楽は楽しい、苦勞はつまらない」という考えが、先生の話で「楽はつまらない、苦勞は楽しい」という考えになりました。
- 会社を作るといって、若い人と思っていましたが、ある程度年をとった人が会社を作るといって知って、驚き、感心しました。大人も自分のしたいことをするときには年は関係ないんだなあと、「夢」という言葉の見方が変わりました。
- 私の夢はTVディレクターです。(中略)もし、私が会社を作ることになったら、先生の会社に行きますので、そのときはよろしくお願いします。私は成功できる大人になってみせます。先生の話はその土台になりました。
- ほとんどお金がないところから努力して何億も稼ぐ人がいるなんて、すごく驚きました。里見先生が「努力しないと絶対に報われない」といったのがとても印象に残りました。僕は努力が嫌いでした。でも里見先生の話聞いてから、少しは努力をするようになりました。
- 「苦勞しているときが楽しい」というのがありましたが、私もなんとなくわかるような気がします。もし、苦勞しているときが楽しくなくても、その後が楽しいことがあるので、先生の話は本当だなと思いました。
- わたしはいままであまり「努力」というものをわかっていなかったような気がします。努力とは人間にと

って夢をかなえるためには絶対に必要なこと。私には絶対になりたい夢があります。里見先生のお話を聞かなかつたら、夢をかなえるのに必要なことを忘れていたかもしれません。「努力する 夢に近づく」このことをいつも胸に秘めていたいです。

- 「未来の社会を担うのは私たちが、未来の社会の理想を持つことが大切」という言葉がグッときました。短時間のお話の中で、得られたものが普段より数倍あった気がします。またお話を聞きたいです。



『働くということ、大人になるということ、誰も教えてくれないこと』

佐藤 浩美氏

- 「自分をしっかり持つ」という言葉に感動しました。「進む方向がわからなくなったら、勉強する！」私は何のために勉強するのかよくわからなかったけど、やっとわかりました。これからは、自分をしっかり持って、他人のせいにして人生を終わらせないようにしたいです。
- 「勉強は嫌いでもいい」と言われたときほっとしました。(勉強は)嫌いだし、必要ないと僕は思っていました。けど、嫌いでも、将来役に立たないことはひとつもないと言われてそうなんだと思いました。勉強は自分のためにやる。誰のためでもないんだと思いました。
- 自分をあらわせるのは自分しかいないのだから、よりよい自分、自分らしい自分を見つけ出していきたいです。ためになる話をありがとうございました。
- 先生の話は実は難しかったです。どんどん質問されて「人生って何？」って言われたときなんかおさらです。今でもその答えがわかりません。先生の話聞いてから、自分を改めようと思いました。不得意で嫌いだった英語と数学も今では少し好きになってきました。先生の話聞かなかつたら、今頃とてもだらけていて、勉強もたぶんだめだったと思います。人との接し方やいろんなことが学べました。
- はじめ、私は先生がとっても強い方だと思っていました。でも、先生は小さいころにとってもつらい思いをされていて、とても大変そうでした。でも、だからこそ今の先生があると思います。私は先生の話聞いて、とってもあこがれました。ハッキリとものが言える先生は、たくましくて、とってもかっこよかったです。
- 私が今回の講話で最も印象に残ったのは、「明日からやり直せばいい」という言葉です。私はいくつも失敗をしますが、「明日から直せばいい」と思えるようになりました。先生の話はとても楽しく分かりやすく、話が終わったその一秒から私の中でとても役に立ち、忘れられないです。
- 私が一番心に残っているのは「自分をきちんと持つことが大切」ということです。私はけっこうネガティブなところがあって、自分をちゃんと持つことができませんでした。でも、先生の講話を聞いて少しだけ、自分を持つことができた気がします。先生の話聞いて少しだけ変われました。本当にありがとうございます。この日を忘れずに生きていきたいと思います。
- 最初は難しくつまらない話かなと思っていましたが、ぜんぜんそうではなく、興味が出るような話で本当に楽しかったです。そして、先生の話聞いて、少し自信ができました。一番驚いたのは2年後私たちは3分の2も変わるということです。正直今私は自分が嫌いです。でも日々努力をすれば3分の2も変わるのなら、がんばろうと思いました。

【コーディネーターより】講話を聴いて、「少し難しかったのでは」と心配でしたが、生徒のお礼状を読んで、彼らは彼らなりに理解しようと必死にがんばっていたんだということがわかりました。また、杉浦校長先生に「たまには難しい話も必要です」と言われ安心しました。二人の講師は対照的で、子どもたちは2時間の長い講話を真剣に、また楽しんでくれた様子でした。「難しいことをやさしくではなく、わかりやすく」というのが、社会人講師の課題であると実感できた貴重な体験でした。